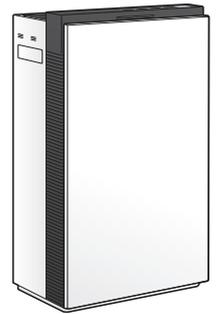


取扱説明書

次亜塩素酸 空間除菌脱臭機

品番 **F-MVB15**



もくじ

	ページ
安全上のご注意	4
設置するときのお願い	7
使用上のお願い	7
各部の名前	8
準備する	12
・塩タブレットを入れる	13
使い方	14
給水のしかた	16
排水のしかた	16
・塩タブレットを入れる	18
お手入れする	19
・電極ユニットを交換するときは	24
・長期間使わないときは	25
別売品	25
ルーバーが外れたとき	26
フロートが外れたとき	26
もっと知りたいとき	27
よくあるお問い合わせ	28
故障かな!?	29
・エラーコード一覧	30
保証とアフターサービス	31
仕様	裏表紙

確認・準備

使い方

お手入れ

困ったとき

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～6ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

■ 本製品は喫煙環境では使用しないでください。

パナソニックの会員サイト「**CLUB Panasonic**」で「**ご愛用者登録**」をお願いします

特典

- お宅の家電商品、消耗品情報が一元管理できる!
- 登録商品に関するお知らせやサポート情報が入手できる!
- 登録すると抽選で商品券などが当たる!

詳しくはこちら
<http://club.panasonic.jp/aiyo/>



次亜塩素酸で空気を洗う。

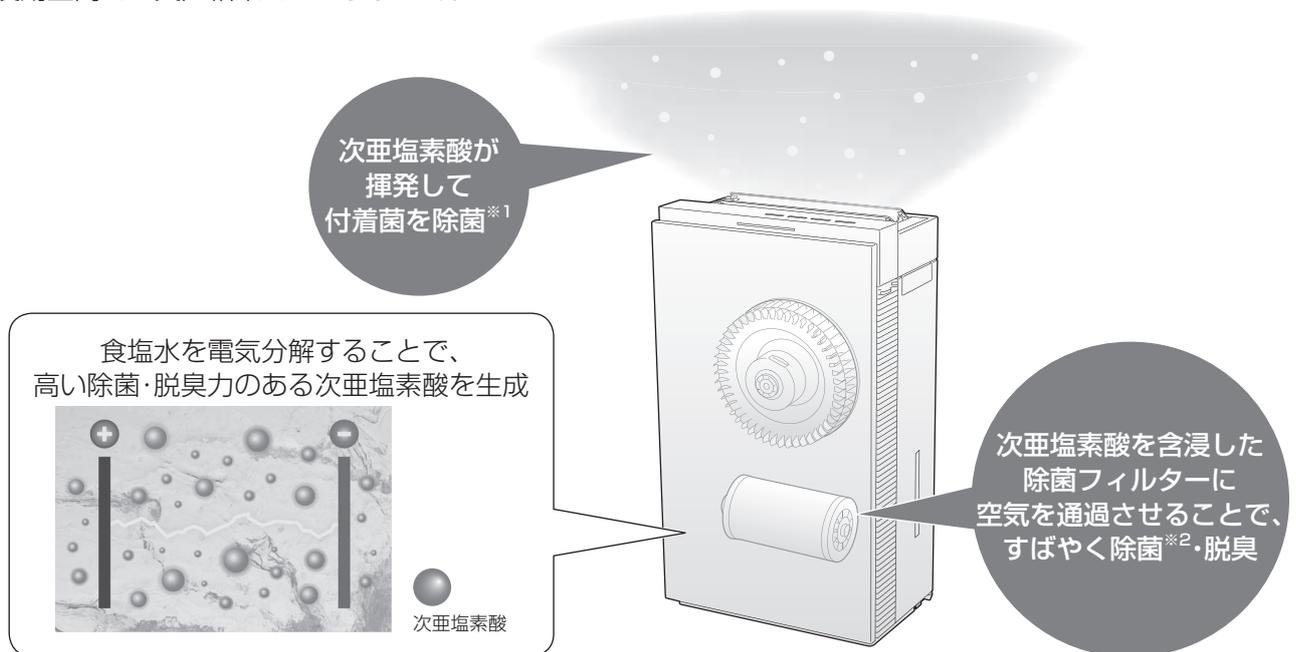
次亜塩素酸
空間除菌脱臭機

ziaino

ジアイーノ

「次亜塩素酸 空間除菌脱臭機」は、 食塩水を電気分解することで「次亜塩素酸」を 生成して、空間の除菌[★]・脱臭をします。

★<付着菌>約10畳での約12時間後の効果です。^{※1}
実使用空間での実証結果ではありません。



「次亜塩素酸」とは、プール水の浄化、ほ乳瓶・食材の洗浄、カップ式自動販売機の水の保存などに使用されている成分です。



※1 <付着菌>

試験機関：(一財)北里環境科学センター
試験方法：約10畳の試験空間でシャーレに付着させた菌数を測定
除菌の方法：次亜塩素酸 空間除菌脱臭機(F-MV1500*)を
風量「強」・電解強度「強」運転で実施
対象：シャーレに付着した1種類の菌
試験結果：約12時間で99%以上抑制
試験番号：北生発2016_0437号

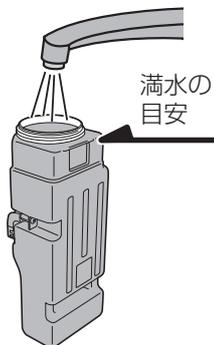
※2 <浮遊菌>

試験機関：(一財)北里環境科学センター
試験方法：約6畳の試験空間で菌数の変化を測定
除菌の方法：次亜塩素酸 空間除菌脱臭機(F-MV1500*)を
風量「強」・電解強度「強」運転で実施
対象：浮遊した1種類の菌
試験結果：約25分で99%抑制
試験番号：北生発2017_0034号

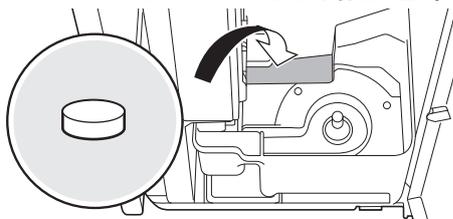
*F-MVB15は、F-MV1500と同等性能(当社評価による)

ご使用の流れ

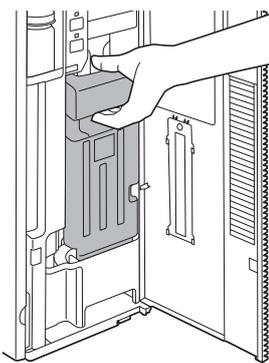
①タンクに水を入れる。



②塩タブレットを入れ、
塩投入確認ボタンを押す。
(頻度の目安:週2回程度。
タイミングはサインでお知らせ。)



③タンクを本体にセットして、
運転する。



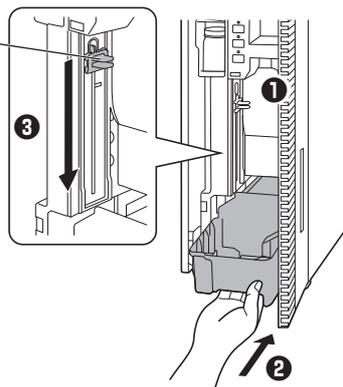
④水がなくなったら給水する。

⑤排水のタイミングが来たら、
トレーの水を捨て、水洗いして
から本体にセットする。

(頻度の目安:週1回程度。
タイミングはサインでお知らせ。)



ツマミ
(つまみながら
動かします)



⑥再度①～③を行う

次亜塩素酸 空間除菌脱臭機を使うには、以下が必要です。

- 定期的な塩タブレットの投入
(塩タブレット1錠を週2回程度。)
- 定期的なトレーの排水作業
(週1回程度。)
- 定期的な部品交換(電極ユニット他)
(電極ユニットは約3年に1回、その他の部品は約5年に1回[1日12時間運転の場合]。)
- 喫煙環境では使用しないでください。
(性能の低下を招きます。)

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

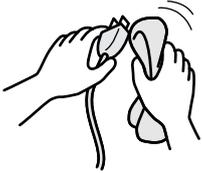
 実行しなければならない内容です。

警告

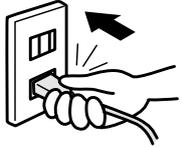
■ 火災や感電などを防ぐために

 ■ 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く
(感電・発火・発煙の原因)
<異常・故障例>
• 水漏れする。
• 電源コードを動かすと、途中で止まる。
• 運転中、異常に大きい音がしたり、激しく振動する。
• 本体が異常に熱かったり、こげくさいニオイがする。
• その他の異常や故障がある。
→ すぐに販売店に点検をご依頼ください。

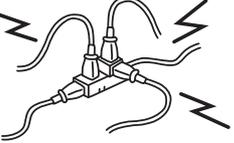
 ■ 電源プラグのホコリ等は、定期的に取り
(ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良による火災の原因)
• 電源プラグを抜き、乾いた布でふく。
• 長期間使わないときは、電源プラグを抜く。



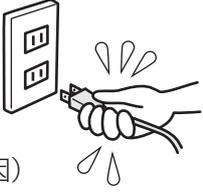
 ■ 電源プラグは、根元まで差し込む
(差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因)
• 傷んだ電源プラグや、ゆるんだコンセントは使わない。



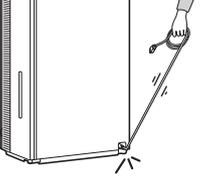
 ■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外で使わない
(たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因)



 ■ 電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししない
(電源プラグや手に付いた水で感電の原因)



 ■ 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
(コードが断線して、ショートなどによる感電や火災の原因)



 ■ お手入れ時は、電源プラグを抜く
(不意に作動して、感電やけがの原因)

 ■ 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない
• 傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、重いものを載せるなど。
(ショートなどによる感電や火災の原因)
修理は、販売店にご相談ください。

警告



■ 分解や修理、改造をしない
(発火や異常作動による、感電や火災の原因)
修理は、販売店にご相談ください。



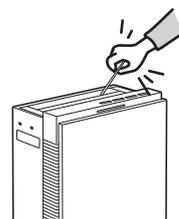
■ 電極ユニットは分解しない
(分解すると電極板などでけがの原因)



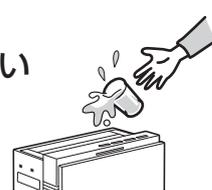
■ 酸性の洗剤やクエン酸は使わない
(有毒ガスが発生し、健康を害する原因)



■ 吸気口や吹出口、すき間に指や金属物などの異物を入れない
(内部に触れると、感電やけがの原因)



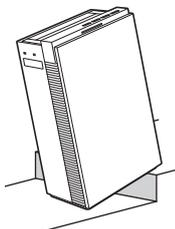
■ 水につけたり、水をかけたりしない
(ショートなどによる感電や火災の原因)



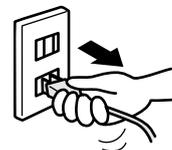
注意



不安定な場所や高い場所に置かない
(落下や転倒による、けがや家財の水ぬれ、漏電・感電・火災の原因)



電源プラグは、プラグ部を持って抜く
(破損し、ショートなどによる感電や火災の原因)



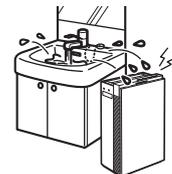
油分が浮遊する場所に置かない
(ひび割れによるけがの原因)



長期間使わないときは電源プラグを抜く
(感電やけがの原因)



高温・多湿・水のかかる場所で使わない
(ショートなどによる感電や火災の原因)



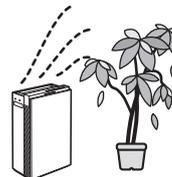
移動するときは左右の取っ手を持つ
(落下によるけがの原因)



移動するときは運転を止め、タンクを取り出しトレイの水を捨てる
(水がこぼれて家財などをぬらす原因)



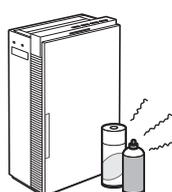
動植物に、直接風が当たる場所で使わない
(悪影響を及ぼす原因)



タンク・トレイから水がこぼれないように持ち運ぶ
落下した水はふき取る
(床や家財などに水がかかると、次亜塩素酸の漂白作用による変色の原因)



油・可燃性ガスを使用したり、漏れるおそれのある場所で使わない
(引火や本体への吸引による、発火や発煙の原因)



ルーバーやフロントパネルを持って持ち運ばない
(落下によるけがの原因)

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠️ 注意



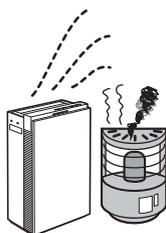
煙が出るタイプの殺虫剤を使うときは、運転しない

(薬剤成分がフィルターなどに付着し、吹出口から放出され、健康を害するおそれ)
• 殺虫剤の使用後は、十分に換気してから運転してください。



燃焼器具と一緒に使うときは、換気する

(一酸化炭素中毒の原因)
• 燃焼器具などから発生する一酸化炭素を除去するものではありません。



家財や壁、手すりなどの金属物に直接風を当てない

(シミやさびの原因)



タンク・トレイおよび本体内部は常に清潔にする

• タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ替える。
(汚れや水あかでカビや雑菌が繁殖すると、悪臭、および体質により、まれに健康を害する原因)



排水は水道水を流しながら行う

(シンクの酸化(さび)の原因)



穴があいたり、破損したタンク・トレイは使わない

(水がこぼれて家財などをぬらす原因)



化学薬品、芳香剤、アロマオイルなどをタンクやトレイに入れない

(タンク、トレイが破損して家財などをぬらす原因)



ベンジンやシンナーでふいたり、殺虫剤をかけたりしない

(ひび割れによるけが、ショートなどによる感電や火災の原因)



タンク・トレイの水を飲まない、動植物などに与えない

(健康を害したり、悪影響を及ぼす原因)



本体に座ったり、上に乗らない

(落下や転倒によるけがの原因)
• とくに小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。



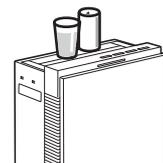
本体を倒さない

(水がこぼれて感電や火災の原因)



水や飲料の入った容器を載せない

(こぼれた水が中に入ると、感電や火災の原因)



可燃物や、火のついたタバコ・線香などを近づけない

(引火による火災の原因)



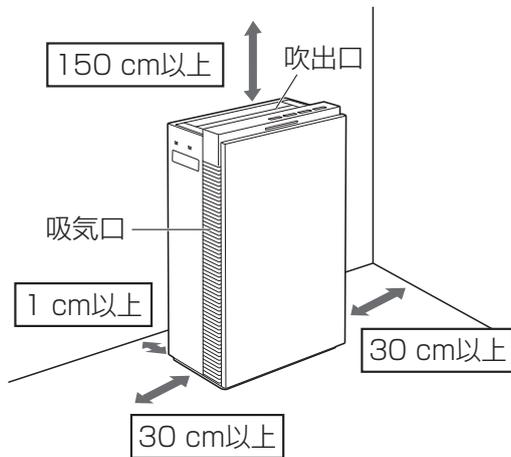
使用中に身体に異常を感じたときは、直ちに使用を中止し、医師に相談する

(体調不良をおこす原因)

設置するときのお願い

■壁などのそばで使うとき

以下の距離を離してお使いください。
(風通しが悪くなると本体内部の温度が上がり、故障の原因)



■本機は室内に置き、5℃から35℃の環境で使用する

■こんな場所には、置かない

- 直射日光や暖房機の熱が当たる場所
(変形や変質、変色の原因)
- カーテンなどで、吸気口や吹出口がふさがれる場所
(誤動作や故障の原因)
- テレビやラジオの近く
(映像の乱れや雑音の原因)
→ 1 m以上離して置く。また、これらの機器と一緒にコンセントに電源プラグを差し込むと、映像の乱れや雑音が発生することがあります。その場合は別のコンセントに電源プラグを差し込んでください。

使用上のお願い

■本体の上に物を載せない

(誤動作や故障の原因)
● とくに、磁石や金属物は載せない
(転倒を検知する内蔵磁石が働き、点検ランプが点灯し、操作ができなくなる原因)



■運転を一時的に停止する場合は、電源プラグを抜かない

(除菌ができなくなるため、カビや雑菌が繁殖する原因)
停止時に、クリーニング運転(P.15)を自動で行いますので、タンクに水があることを確認し、電源プラグを抜かないでください。

■長時間、電源プラグを抜いたときは、タンク・トレーの水を捨てる

(通電しないため、次亜塩素酸の効果がうすれ、カビや雑菌が繁殖する原因)
● 一時的に電源プラグを抜いた場合は支障ありません。

■喫煙環境で使用しない

(性能の低下、電極ユニット・除菌フィルターの交換時期が早くなる原因)
(タバコの煙を吸い込むとヤニなどで本体内部が汚れる原因)
● ヤニなどを含んだ汚れた水が本体から飛びおそれがあります。

■長時間、同じ場所で使うときは

同じ場所で使い続けると、製品の吸い込み空気により、本体周辺の壁などが汚れることがあります。ときどき設置場所を移動したり、定期的に壁などを清掃することをおすすめします。

■凍結のおそれがあるときは、タンク・トレーの水を捨てる

(水が凍結した状態で運転すると、故障の原因)

■吹出口を布やタオルなどでふさがない

(誤動作や故障の原因)

塩タブレットについて

■塩タブレットを本機以外で使わない

■塩タブレットは必ず付属品、または別売品(P.25)を使う

■排水をしたときは、必ず塩タブレットを1粒トレーに投入する

(塩タブレットを投入しない場合、次亜塩素酸の効果が弱くなります)

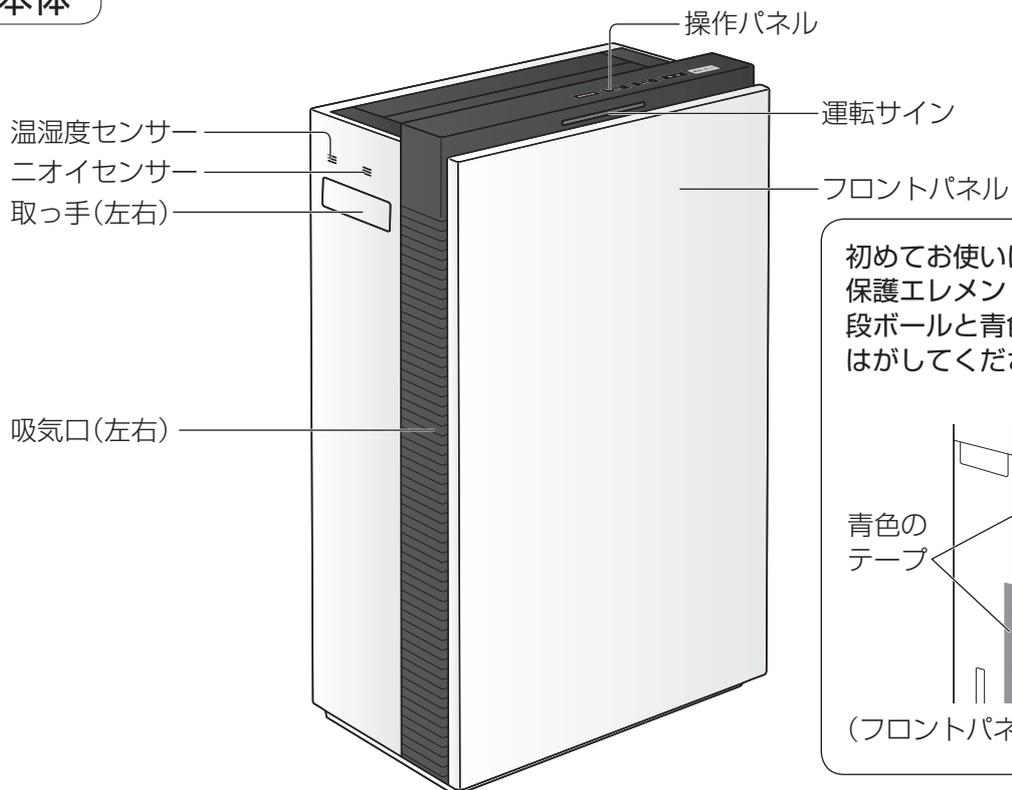
■開封後はふたをしっかりと閉める

■塩タブレットを飲んだりしない

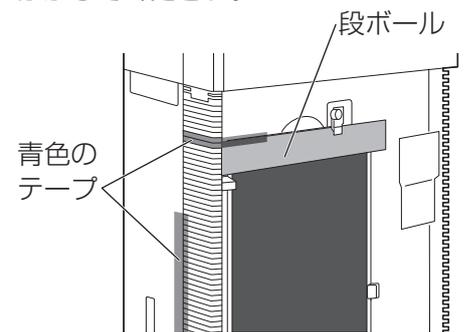
- 誤って塩タブレットを飲まれたときは、直ちに十分な水をお飲みください。(1粒あたり500 mL以上)
- 一度にたくさん飲まれたときや、高血圧症・心臓病等の方が飲まれたときは、医師にご相談ください。

各部の名前

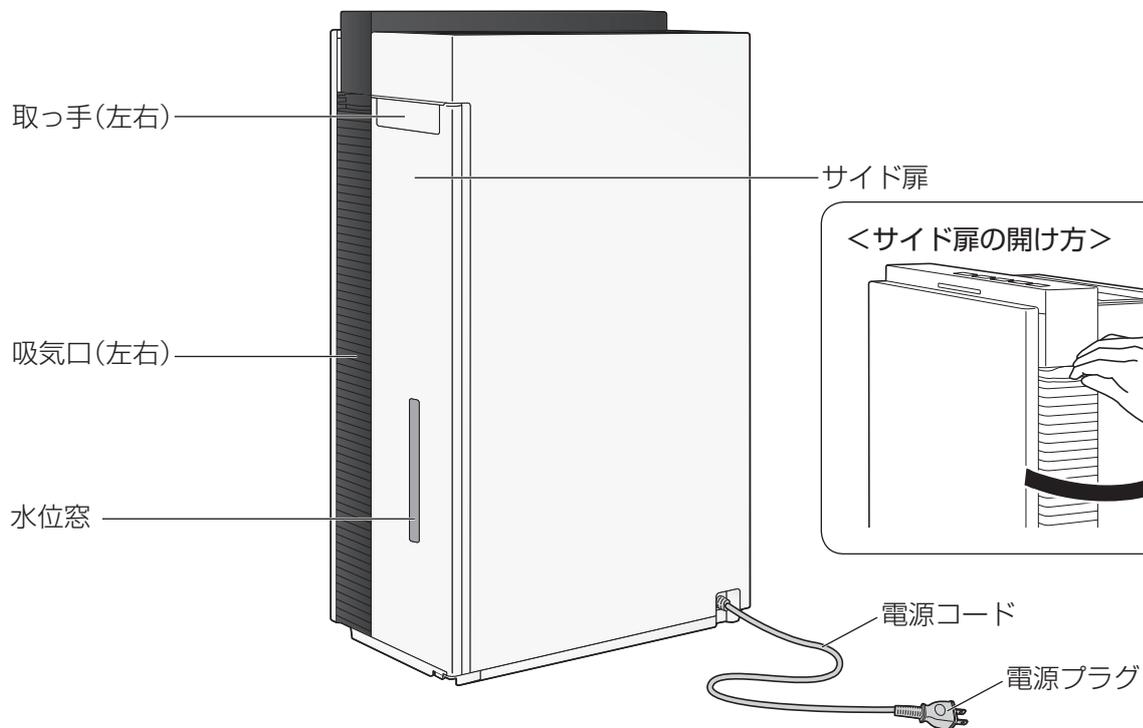
本体



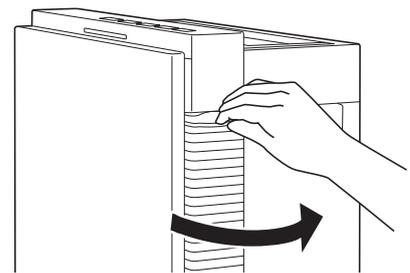
初めてお使いになるときは、保護エレメントを固定している段ボールと青色のテープをはがしてください。



(フロントパネルの外し方はP.21)



<サイド扉の開け方>

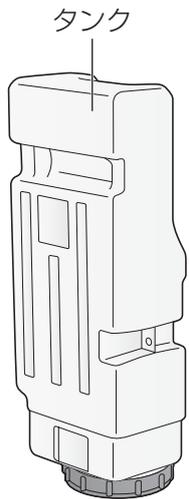
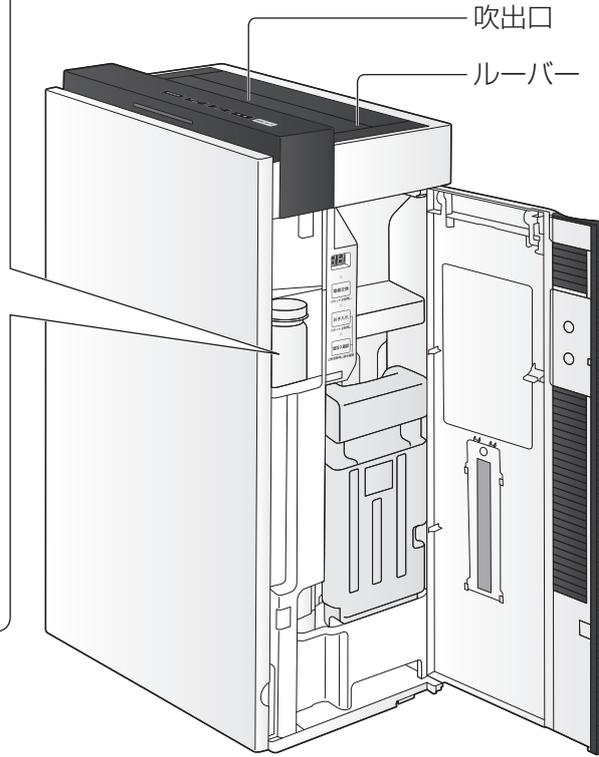
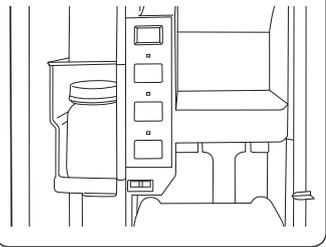


付属品

- 塩タブレット (約300粒入)



塩タブレットは本体に収納できます。



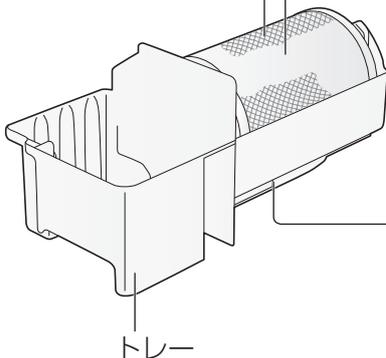
タンク

ツマミ

フロート (内部2ヶ)

除菌フィルターセット

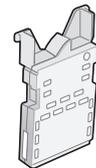
水受けトレイ



トレイ

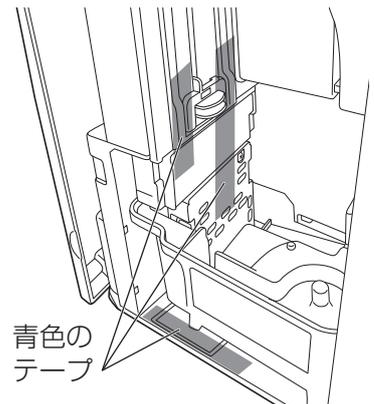


防カビユニット (内部)



電極ユニット (内部)

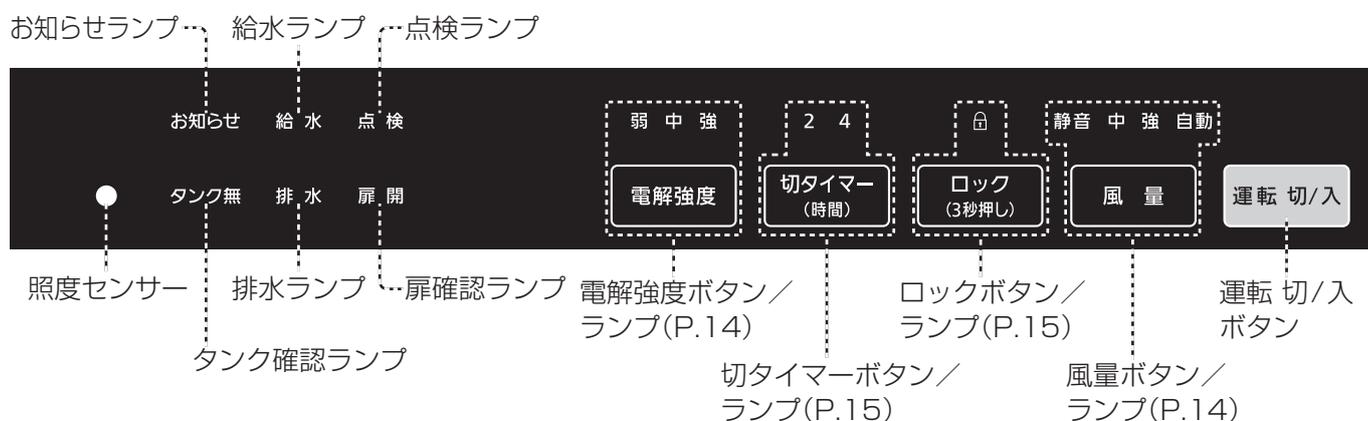
初めてお使いになるときは、電極ユニット、水受けトレイを固定している青色のテープをはがしてください。



青色のテープ

各部の名前 (つづき)

操作パネル



■ 照度センサー

照度センサーでお部屋の明るさを検知し、就寝時などお部屋が暗くなると「おやすみ自動運転」(P.27)により、風量を弱め([自動]のみ)、操作パネル・運転サインのランプの明るさを自動で減灯・消灯します。

■ お知らせランプ

メンテナンスパネルのいずれかのランプが点滅・点灯している場合に点灯します。

■ 給水ランプ

タンクの水がなくなると、「ピピッ」とお知らせ音が5回鳴り、給水ランプが点灯します。

- 給水されるまで、5分ごとにお知らせ音が鳴ります。
- 60分以上給水されないと、60分ごとにお知らせ音が鳴ります。
(「おやすみ自動運転」(P.27)時は2回目以降は鳴りません)
→タンクに水を入れる。(P.13)
- 給水お知らせ音は消すことができます。(P.28)

■ 点検ランプ

本体の異常を点灯でお知らせします。
→点灯した場合、デジタル表示部のエラーコードをご確認ください。(P.30)

■ タンク確認ランプ

タンクを取り出した場合に点灯します。

■ 排水ランプ

トレーを排水する時期が来ると点灯します。

- 最後に排水作業を行ってから、約1週間経過した際、または給水ランプが7回目に点灯した際に点灯します。
→排水作業を行う。(P.16)
- お部屋のお掃除などで一時的に電源プラグを抜いた場合、電源プラグを差し直すと排水時期に関係なく排水ランプが点灯し、メンテナンスパネルのお手入れランプと塩投入確認ランプが同時に点滅します。このような場合、排水作業を行わずに運転を継続することができます。
→排水解除(P.11)

■ 扉確認ランプ

サイド扉を開けると点灯します。

- サイド扉が開いている間、扉確認ランプが点灯します。
- 運転中にサイド扉を開けると、「ピピピピピ」音が鳴り、扉確認ランプが点灯し、運転が一時停止します。
サイド扉を閉じると、約20秒間、準備運転を行います。
準備運転終了後、サイド扉を開ける前の運転モードに戻ります。

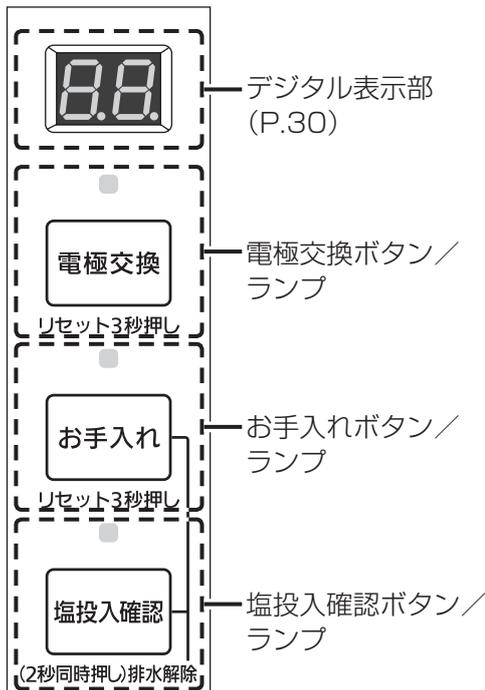
運転サイン

空気の汚れや運転状態をサインでお知らせ。

- 「点灯」のときは空気の汚れを、「点滅」のときは運転状態や各種お知らせを表しています。
- 運転サインは消すことができます。(P.28)

<p>青点灯(空気がキレイなとき)</p> <p>青1～5:運転中 </p> <p>●運転を継続して空気がキレイな状態が続くと、運転サインが点灯していきます。</p>	<p>赤点灯(空気の汚れを検知したとき)</p> <p>赤1:少し汚れているとき </p> <p>赤3:汚れているとき </p>
<p>青点滅(運転状態)</p> <p>青2:準備運転中 </p> <p>青1:クリーニング運転中 </p> <p>青3:除菌フィルター乾燥運転中 </p>	<p>赤点滅(各種お知らせ)</p> <p>赤1:塩投入確認待ちのとき </p> <p>:電極ユニットの交換時期のとき</p> <p>:お知らせ、給水、点検、タンク確認、排水、扉確認ランプが点灯したとき</p> <p>●約4時間以上給水ランプが点灯し続けると、赤1が赤3になります。</p>

メンテナンスパネル



■ 電極交換ランプが点滅・点灯したとき

- 点滅:電極交換の時期が近づいています。
→電極ユニットを交換してください。(P.24)
- 点灯:運転できなくなります。

■ お手入れランプが点灯したとき <約1か月で点灯> →お手入れをしてください。

トレー・防カビユニット・除菌フィルターセットをお手入れ(P.22、23)して、本体に取り付ける。

取り付け後、**お手入れ**を約3秒押ししてください。

- お手入れランプの点灯時期より早くお手入れをされた場合も**お手入れ**を約3秒押ししてください。

■ 塩投入確認ランプが点滅したとき

→塩タブレットを投入してください。(P.18)

投入後、**塩投入確認**を押してください。

- 塩投入確認ランプ点滅のタイミングは
 - ・初回運転時
 - ・排水作業後
 - ・**塩投入確認**を押してから、約3日後または**塩投入確認**を押してから給水ランプが3回目に点灯したとき

■ お手入れランプと塩投入確認ランプが同時に点滅したとき(排水解除)

- 排水ランプを消すことができます。

→**お手入れ**と**塩投入確認**を同時に約2秒押し。

(排水ランプ・お手入れランプ・塩投入確認ランプ消灯)

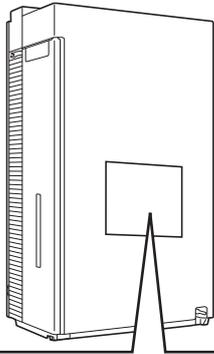
お願い

約4時間以上電源プラグを抜いていた場合は、必ず排水作業を行ってください。(P.16)

準備する

設置の前に

1 使用開始日を記入する



交換用電極ユニット 品番 FKA4100014 ●電極交換ランプが点滅したとき(約3年に1回)	
使用開始日	年 月 日
交換日	年 月 日
	年 月 日

交換用除菌フィルター 品番 F-ZVT3000 ●約5年に1回(1日12時間運転の場合)	
使用開始日	年 月 日
交換日	年 月 日
	年 月 日

交換用保護エレメント 品番 F-ZVF3000 ●約5年に1回(1日12時間運転の場合)	
使用開始日	年 月 日
交換日	年 月 日
	年 月 日

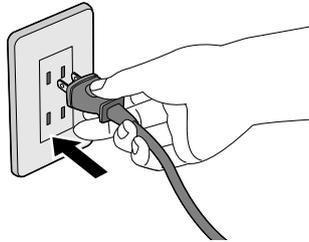
交換用防カビユニット 品番 FKA0430059 ●約5年に1回(1日12時間運転の場合)	
使用開始日	年 月 日
交換日	年 月 日
	年 月 日

お願い

- 設置の前に必ずP.4～7を参照してください。

電源を入れて、タンクを取り出す

2 電源プラグを差し込む



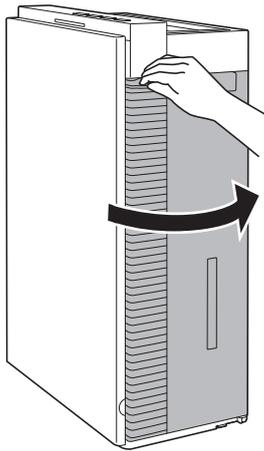
お知らせ 給水 点検
タンク無 排水 扉開

操作パネルのお知らせランプ・給水ランプ点灯

- 電源プラグを差し込むと「ピピッ」音が5回します。

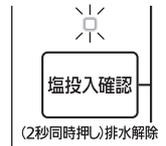
3 本体からタンクを取り出す

①サイド扉を開ける。



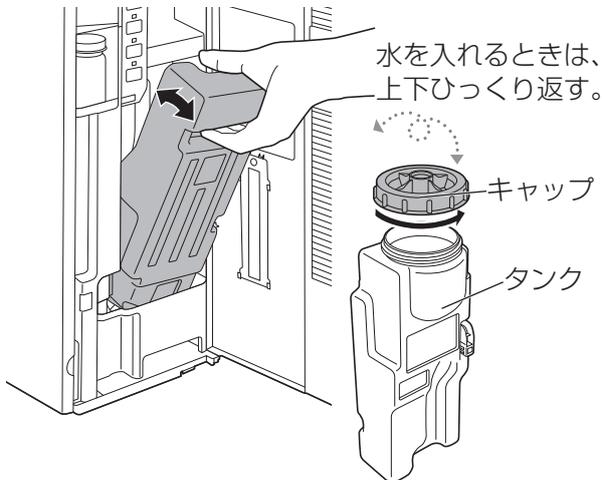
お知らせ 給水 点検
タンク無 排水 扉開

操作パネルの扉確認ランプ点灯



メンテナンスパネルの塩投入確認ランプ点滅

②タンクを取り出し、キャップを外す。



お知らせ 給水 点検
タンク無 排水 扉開

操作パネルのタンク確認ランプ点灯

タンクは立てることができませんが、倒れないように注意してください。

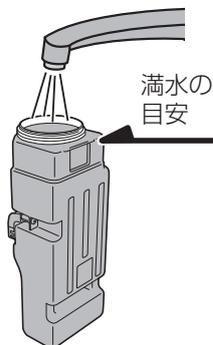
タンクに水を入れ塩タブレットを入れる

タンクを戻してサイド扉を閉める

4 タンクに水を入れる

①タンクに水を入れる。

- 給水する際は、毎回必ず満水まで入れてください。



②キャップをしっかり締める。

- タンクは倒れないよう、しっかり持つ。

■必ず、水道水(飲用)を使う！

(一般に塩素処理されており、雑菌が繁殖しにくい)

●次のような水は、使わない。

- 40℃以上の温水や洗剤を入れた水(変形や故障の原因)
- 化学薬品、芳香剤、アロマオイルなどを入れた水(破損して家財などをぬらす原因→P.6)
- 浄水器の水やアルカリイオン水、ミネラルウォーター(カビや雑菌が、繁殖する原因)
- 井戸水(カビ・雑菌が繁殖したり、変色や電極ユニットの交換時期が早くなる原因)

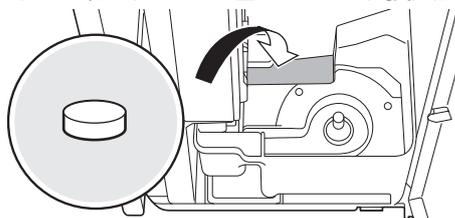
■タンク1杯分の連続運転可能時間は約10時間

- ([強]運転/室内の温度が20℃、湿度が30%の場合)

5 トレーに塩タブレットを1粒投入する

①塩タブレットの容器から、塩タブレットを1粒取り出す。

②塩タブレットを1粒、トレーの塩タブレット投入口へ投入する。



■塩タブレットは必ず付属品または別売品(P.25)をお使いください。

6 塩投入確認ボタンを押す



操作パネルのお知らせランプが消灯

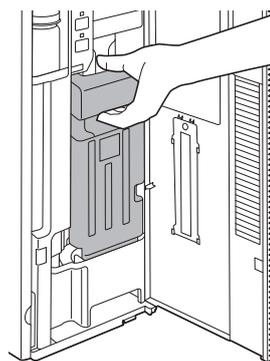


メンテナンスパネルの塩投入確認ランプ消灯

7 タンクを本体に戻して、サイド扉を閉める

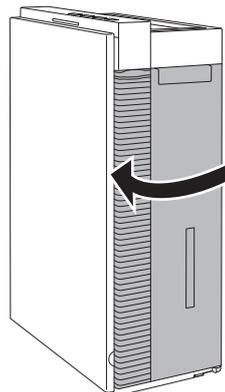
①タンクを本体に戻す。(タンク確認ランプ消灯)

- タンクの水がトレーに給水完了すると、給水ランプが消灯します。



操作パネルの扉確認ランプ以外が消灯

②サイド扉を閉める。



操作パネルの扉確認ランプが消灯

8 すべてのランプが消灯したことを確認する

- すべてのランプが消灯しないと運転できません。

使い方



1 運転を始める

運転 切/入

初めてお使いのときは、「風量」設定は[自動]、「電解強度」設定は[中]で運転します。2回目以降は、前回運転停止した時の設定で運転が再開されます。

- 押してから約20秒間、準備運転を行います。
(運転サインが青点滅)
 - 準備運転中に風は出ません。
- 準備運転終了後、運転を開始します。
(運転サインが点灯)

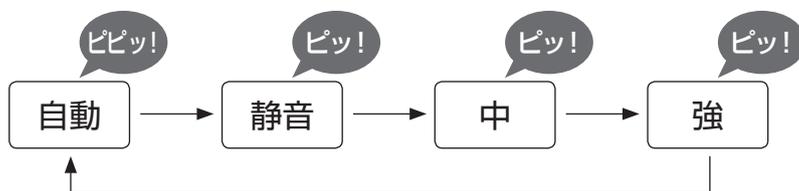
2 風量を選ぶ

風量

押すたびに切り換わります。

静音 中 強 自動

(ランプ点灯)



- [自動]に設定した場合は、お部屋の二オイ・湿度・温度・明るさに応じて、風量を切り換えます。
- 準備運転中も設定できます。

3 電解強度を選ぶ

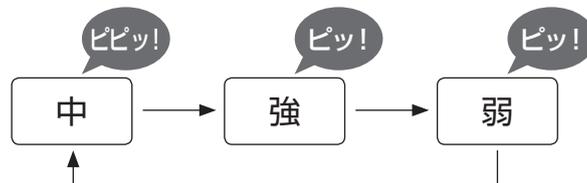
電解強度

押すたびに切り換わります。

弱 中 強

(ランプ点灯)

次亜塩素酸の生成量を選ぶことができます。



- お部屋の二オイが気になるときや、除菌効果を上げたいときは[強]に、塩素系(消毒)の二オイが気になるときは[弱]にしてください。
- 準備運転中も設定できます。

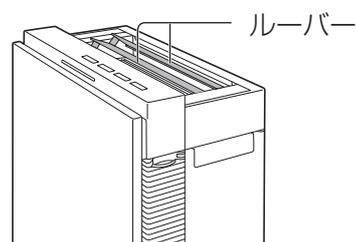
4 運転を止める

運転 切/入

- 押してから約10秒間、送風を行います。
(本体内に溜まった次亜塩素酸を排出するため)

お願い

- 運転中にルーバーを手で動かさないでください。
→動かした場合は、いったん運転を止めてください。
(再び運転を始めると、正常な状態に戻ります)



操作をロックする

ロック (3秒押し)

約3秒押し
(ロックランプ点灯)

■解除したいとき

再度、約3秒押し(ランプ消灯)

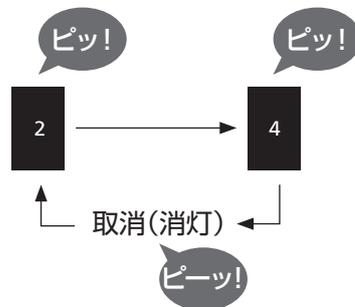
いたずら操作を防止します。

設定後に **ロック (3秒押し)** 以外のボタンを押すと、「ピーピー」と警告音が鳴り、操作はできません。

切タイマーを選ぶ

切タイマー (時間)

押すたびに
切り換わります。
(切タイマーランプ点灯)



- [4] 時間設定時は、残り2時間になると[2]の表示が点灯します。

■次の場合、切タイマーが解除されます

- 切タイマー運転中にタンクの水がなくなった場合。(運転が停止します)
- 切タイマー運転中にタンクを取り外した場合。(運転が停止します)

クリーニング運転 (自動)

- 本製品は装置内部を清潔に保つため、定期的にクリーニング運転を行います。
(クリーニング運転中は送風を行います)



お願い

- タンクに水がないと、クリーニング運転は行われませんので、タンクに水があることを確認してください。
- 運転停止中に自動で行いますので、電源プラグを抜かないでください。

給水のしかた

⚠️ 注意

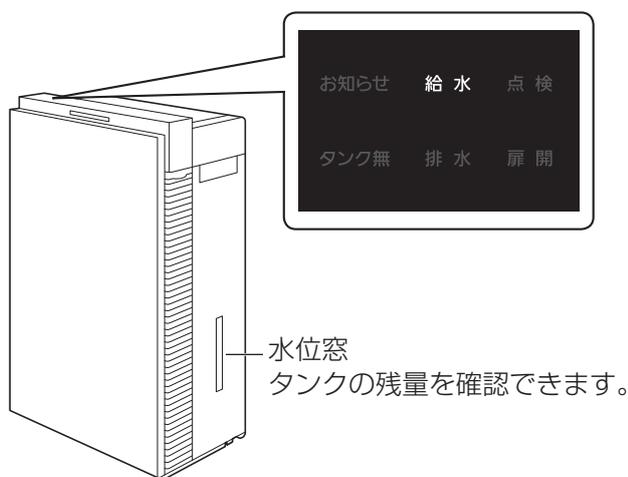
■タンク・トレーから水がこぼれないように持ち運ぶ

落下した水はふき取る

(床や家財などに水がかかると、次亜塩素酸の漂白作用による変色の原因)



- タンクの水がなくなると、「ピピッ」音が5回鳴って運転を停止します。(給水ランプ点灯)
 - 給水お知らせ音は消すことができます。(P.28)



1 本体からタンクを取り出し、タンクに水を入れる

- タンクを取り出し方、水の入れ方はP.12「準備する」の手順3～手順4を参照してください。

2 タンクを本体に戻す

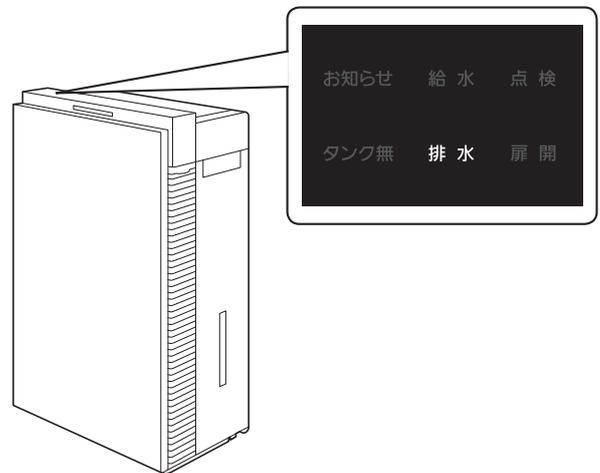
- タンクに戻し方はP.12「準備する」の手順7を参照してください。

お願い

- 塩投入確認ランプが点滅したときは、トレーに塩タブレットを投入してください。(P.18)
塩タブレットは必ず塩投入確認ランプ点滅時に投入してください。塩タブレットを投入する周期は「約3日で1粒」で設定されています。塩分濃度が上がりまですので、給水ごとに入れしないでください。

排水のしかた

- トレーの水を捨てるタイミングが来ると排水ランプが点灯し、運転を停止します。
 - 最後に排水作業を行ってから、約1週間後、または給水ランプが7回目に点灯した際に、点灯します。



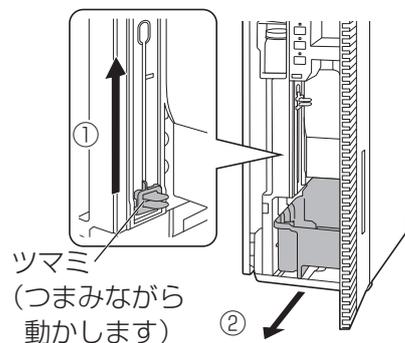
タンク・トレーを取り出す

1 本体からタンクを取り出す

- タンクを取り出し方はP.12「準備する」の手順3を参照してください。

2 本体からトレーを取り出す

- ①ツマミを一番上まで引き上げる。
- ②トレーを取り外す。



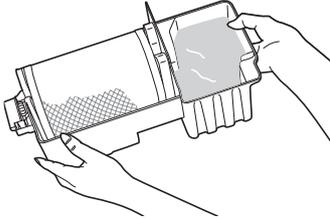
※トレーはツマミ(電極ユニット)を引き上げないと取り出せません。必ず電極ユニットが上がっていることを確認してから、トレーを取り外してください。

排水する

トレーを本体に戻す

3 トレーの水を捨てる

① 傾けないように移動する。



② トレーの水を捨てる。

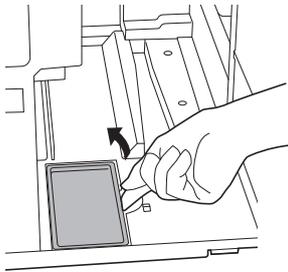
- トレーの水を捨てないと、排水ランプが点灯したままになり、運転できません。



- 除菌フィルターセットを指で押さえてください。

水道水を流しながら排水する。

③ 水受けトレイ（電極から水が落ちるのを受け止める）に水が溜まっていれば、外して水を捨てる。



⚠ 注意



■ 排水は水道水を流しながら行う
(シンクの酸化(さび)の原因)

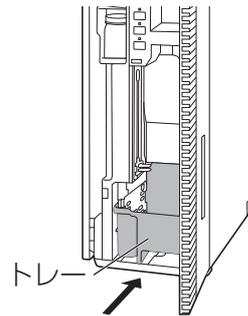
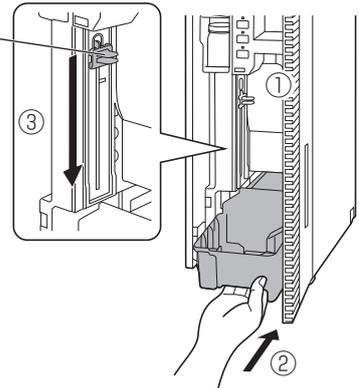
4 トレーを本体に戻す

① ツマミが上がっていることを確認する。

② トレーを取り付ける。

③ ツマミを一番下まで引き下げる。

ツマミ
(つまみながら動かします)

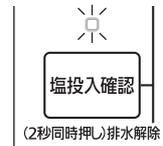


お知らせ 給水 点検

タンク無 排水 扉開

操作パネルの
排水ランプが消灯

- トレーは本体の奥までしっかりと入っていることを確認してください。
- トレーがセットされると、塩投入確認ランプが点滅します。



メンテナンスパネルの
塩投入確認ランプ点滅

お願い

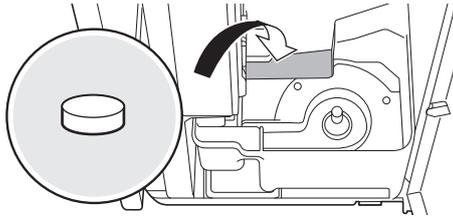
- トレーは必ず水を空にして本体に取り付けてください。水が残っていると、排水ランプが消灯しません。

排水のしかた (つづき)

塩タブレットを入れる

5 トレーに塩タブレットを1粒投入する

- ① 塩タブレットの容器から、塩タブレットを1粒取り出す。
- ② 塩タブレットを1粒、トレーの塩タブレット投入口へ投入する。



■ 排水したときは、必ず塩タブレットを1粒トレーに投入する

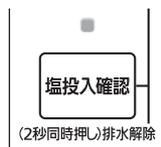
- 塩タブレットを投入しない場合、次亜塩素酸の効果弱くなります。

■ 塩タブレットは必ず付属品または別売品(P.25)をお使いください。

6 塩投入確認ボタンを押す



操作パネルの
お知らせランプが消灯



メンテナンスパネルの
塩投入確認ランプ消灯

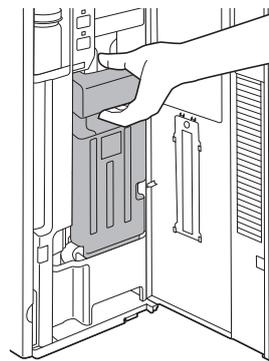
タンクを戻す

7 タンクを本体に戻して、サイド扉を閉める

- タンクの水が満水ではない場合は、タンクに水を入れてください。水の入れ方はP.12「準備する」の手順4を参照してください。

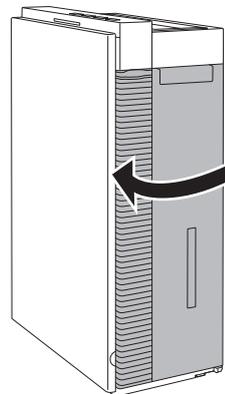
① タンクを本体に戻す。(タンク確認ランプ消灯)

- タンクの水がトレーに給水完了すると、給水ランプが消灯します。



操作パネルの
扉確認ランプ以外が消灯

② サイド扉を閉める。



操作パネルの
扉確認ランプが消灯

8 すべてのランプが消灯したことを確認する

- すべてのランプが消灯しないと運転できません。

お手入れする

お手入れの前に

警告



- お手入れ時は、電源プラグを抜く
(不意に作動して、感電やけがの原因)
- 酸性の洗剤やクエン酸は使わない
(有毒ガスが発生し、健康を害する原因)

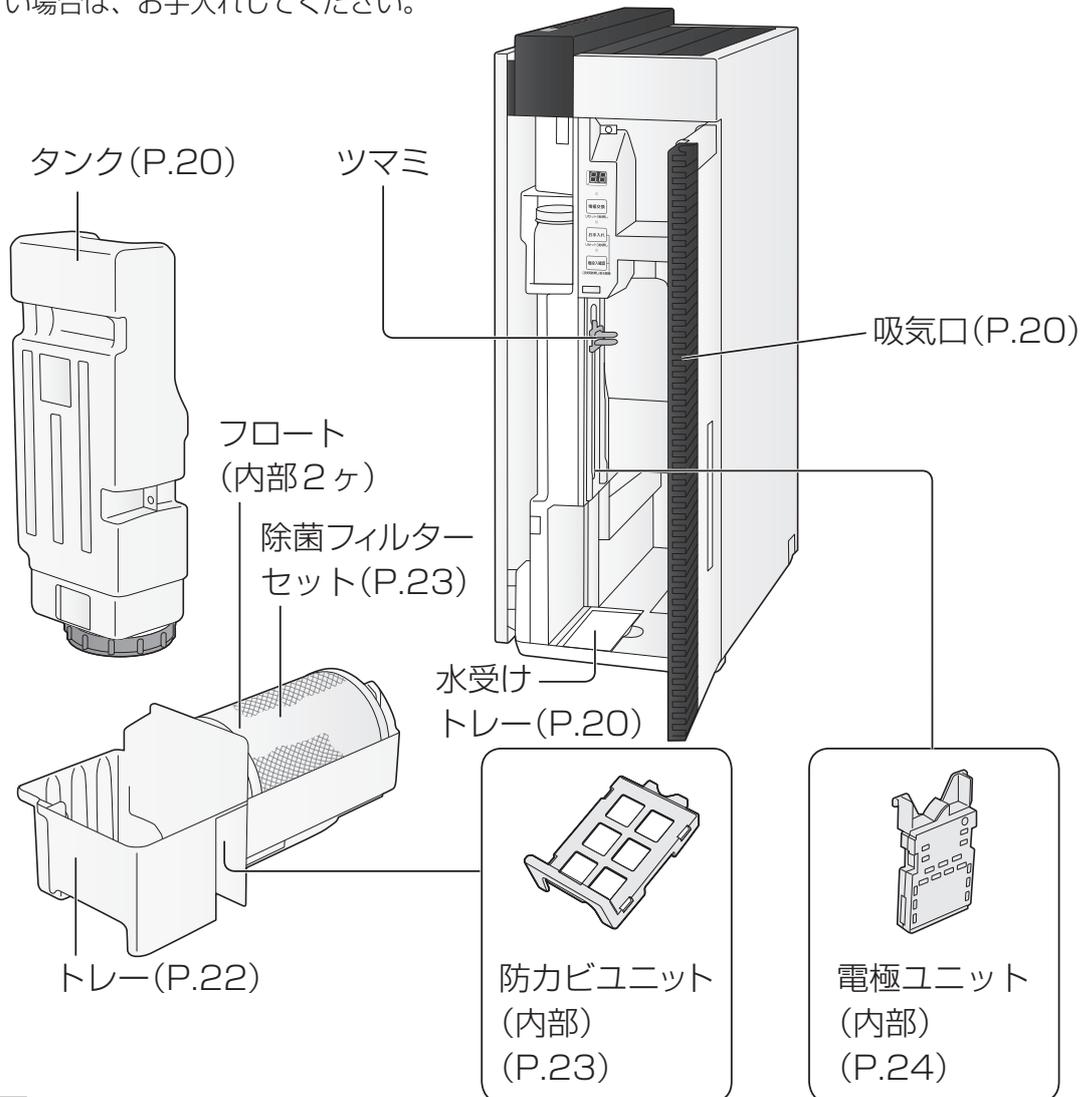
- 右の洗剤は使わない。
(樹脂部品の変質・変色・破損の原因)
- 化学ぞうきんは、その注意書きに従って使う。
- 水質や使用環境により汚れ具合が変わるため、お手入れランプが点灯する前、または所定の期間前でも、ニオイがしたりタンクの水が減りにくい場合は、お手入れしてください。



注意



- タンク・トレイから水がこぼれないように持ち運ぶ
落下した水はふき取る
(床や家財などに水がかかると、次亜塩素酸の漂白作用による変色の原因)
- 排水は水道水を流しながら行う
(シンクの酸化(さび)の原因)
- ベンジンやシンナーでふいたり、殺虫剤をかけたりしない
(ひび割れによるけが、ショートなどによる感電や火災の原因)



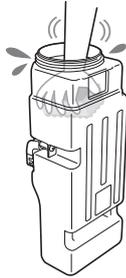
お願い

- お手入れの際、取り外した部品は放置しないでください。(放置部品につまずいたり、部品の破損の原因)
- お手入れ後は電源プラグを差し込んでから水を入れたタンクを本体にセットしてください。タンクをセットしてから電源プラグを差し込むと給水ランプが点灯して運転を開始できません。

お手入れする (つづき) (タンク・水受けトレイ) (本体・フロントパネル)

タンク <毎日>

水洗いする

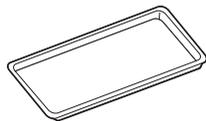


水受けトレイ

<約2週間に1回>

水洗いする

- 汚れが気になるときは2週間以内でもお手入れしてください。



本体・フロントパネル

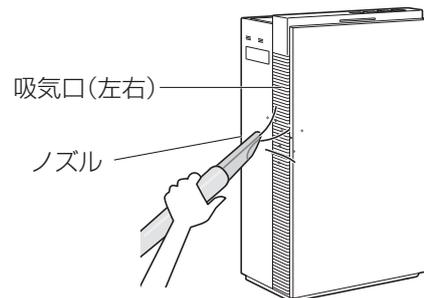
<約1か月に1回>

よく絞った柔らかい布でふく

- かたい布でふいたり強くこすったりすると、表面が傷つく原因になります。ただし、電源プラグは乾いた布でふいてください。

吸気口は

掃除機などで汚れを取る



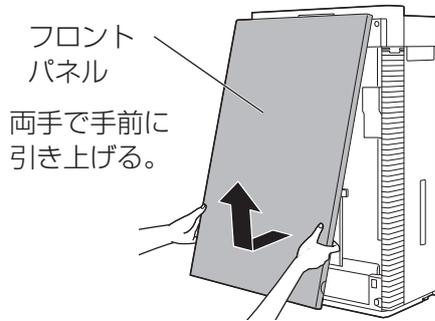
- 汚れが取れない場合は、よく絞った柔らかい布でふく。

(保護エレメント)

フロントパネル・保護エレメントの外し方／取り付け方

フロントパネルの外し方

両手で手前に引き上げる。



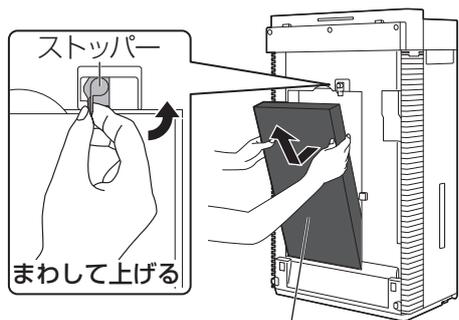
フロントパネルの取り付け方

- ①フロントパネル上側を本体に引っかける。
- ②フロントパネル下側を本体に押し込む。



保護エレメントの外し方

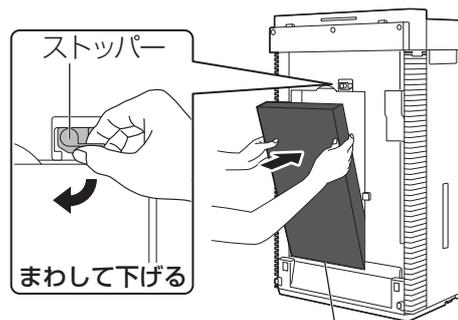
ストッパーをまわして上げ、保護エレメントを外す。



両手で手前に引く。

保護エレメントの取り付け方

- ①本体の凹部に保護エレメントを入れる。
- ②ストッパーをまわして下げ、保護エレメントを止める。

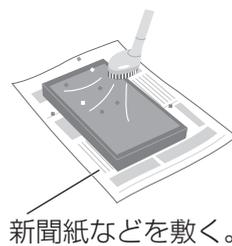


本体の凹部

保護エレメント <約1か月に1回>

黒い面(おもて面)のホコリを掃除機などで取る

- 傷がつきやすいため、強く押さない。
- 白い面(裏面)は、お手入れしない。
- 水洗いはしない。
- 汚れが気になるときは1か月以内でもお手入れしてください。



お願い

- 保護エレメントを外したまま運転しないでください。(効果が得られなかったり、吸ったホコリで故障する原因)

保護エレメント交換の目安

(別売品:P.25)

交換時期	約5年に1回*
条件	1日に12時間運転の場合

※使用環境によっては、保護エレメントの交換時期が極端に短くなる場合があります。効果がなくなってきたときは交換してください。

- 交換後、交換日を本体背面ラベルに記入してください。
- 保護エレメントは不燃物として捨ててください。

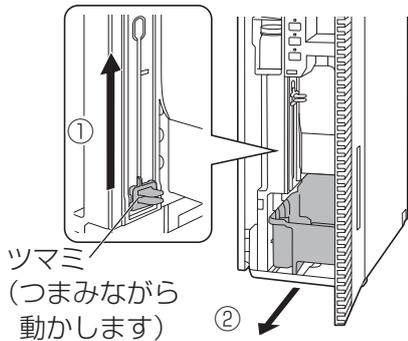
お手入れする (つづき)

(トレー)

トレー <約1か月に1回>

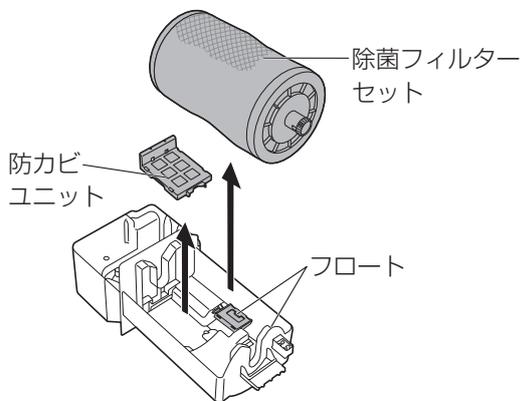
1 本体からトレーを取り出す

- ① ツマミを一番上まで引き上げる。
- ② トレーを取り出す。



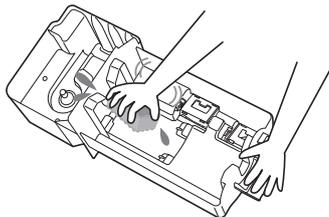
※トレーはつまみ(電極ユニット)を引き上げないと取り出せません。必ず電極ユニットが上がっていることを確認してから、トレーを取り外してください。

2 トレーから除菌フィルターセット・防カビユニットを外す



■フロート(発泡スチロール)は外さない
(正しくついていないと運転しない原因)

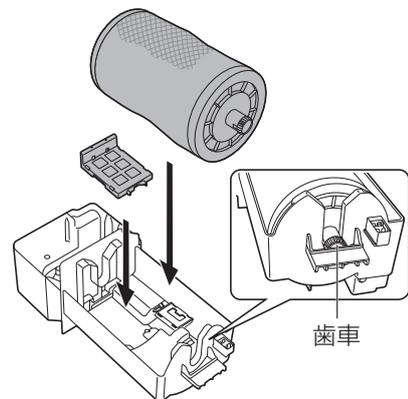
3 水洗いする



- 水に浸した柔らかい布で水あかななどの汚れを取り除く。
- 細部の汚れは、綿棒や歯ブラシなどで落とす。

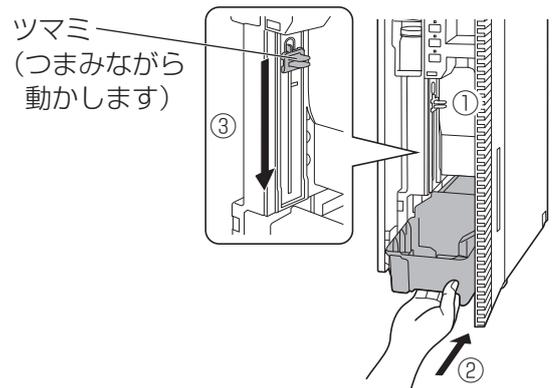
4 トレーに除菌フィルターセット・防カビユニットを取り付ける

- ① 防カビユニット
水平にして凹部に入れる。
● 入れる際は、向きに注意してください。
- ② 除菌フィルターセット
歯車をトレーへ収める。



5 本体にトレーを戻す

- ① ツマミが上がっていることを確認する。
- ② トレーを取り付ける。
- ③ ツマミを一番下まで引き下げる。



お願い

- トレーは必ず水を空にして本体に取り付けてください。

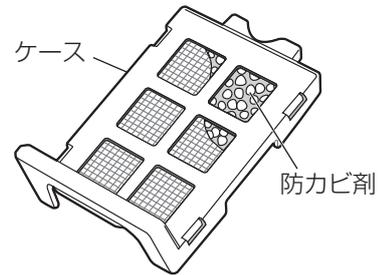
（防カビユニット 除菌フィルターセット）

防カビユニット <約1か月に1回>

水洗いする

（トレーからの取り外し方・取り付け方はP.22）

- ブラシでこすったり、分解したりしない。
- 防カビユニットのネットが破れていないか確認する。
→破れていたら交換する。
- 防カビユニットのケースが汚れていないか確認する。
→汚れていたら柔らかい布でふき取る。



お知らせ

- 防カビユニットから、粉末が出ていることがありますが、ご使用上の問題はありません。
- 防カビ剤は、使用とともに小さくなりますが、防カビ性能は問題ありません。
- 防カビ剤特有のニオイがすることがありますが無害です。

防カビユニット交換の目安

（別売品：P.25）

交換時期	約5年に1回
条件	1日に12時間運転の場合

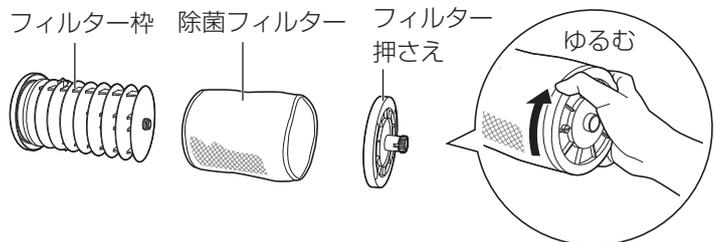
- 交換後、交換日を本体背面ラベルに記入してください。

除菌フィルターセット <約1か月に1回>

1 外す

（トレーからの取り外し方・取り付け方はP.22）

フィルター枠から、フィルター押さえ、除菌フィルターの順に取り外す。



2 洗う

- 除菌フィルターは

水か、ぬるま湯で押し洗いする

- ブラシなどでこすったり洗濯機で洗ったりしない。
- 乾燥機で乾かさない。（縮みの原因）
- フィルター枠とフィルター押さえは水洗いする。



3 戻す

- ① 除菌フィルターをフィルター枠に差し込む。
 - ② フィルター押さえを、フィルター枠に取り付ける。
- 除菌フィルターは、フィルター押さえやフィルター枠との間にすき間ができたり、両端の円部分にかぶさったりしないようにする。（性能が低下する原因）

除菌フィルター交換の目安

（別売品：P.25）

交換時期	約5年に1回*
条件	1日に12時間運転の場合

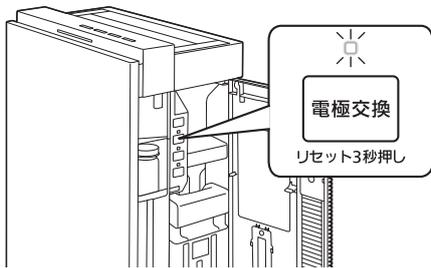
※ 水質や使用環境により汚れ具合が変わるため、お手入れをしてもニオイがしたりタンクの水が減りにくい場合は、5年以内でも交換してください。

- 除菌フィルターは不燃物として捨ててください。
ただしフィルター枠とフィルター押さえは、捨てないでください。
- 交換後、交換日を本体背面ラベルに記入してください。

お手入れする (つづき)

(電極ユニット)

電極ユニットを交換するときは



電極交換ランプが点滅したら…

- 電極交換ランプが点滅したら、交換してください。
- 点滅してから、約1か月後に電極交換ランプが点灯します。(電極交換ランプが点灯すると、運転ができなくなります)
- 約3年に1回が交換時期の目安です。(1日12時間運転の場合)
- 水質や使用環境によって交換時期は異なります。
- 交換後、交換日を本体背面ラベルに記入してください。

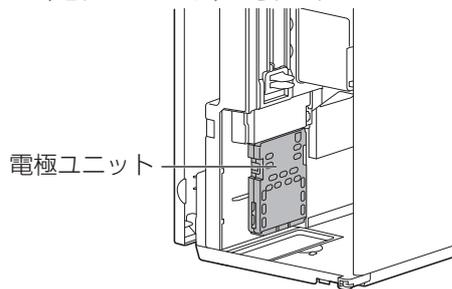
お願い

- 必ず本機専用の電極ユニット(「別売品」P.25)をご使用ください。
- 電極ユニットを引き上げるまたは引き下げる際は、つまみをつまみながら動かしてください。

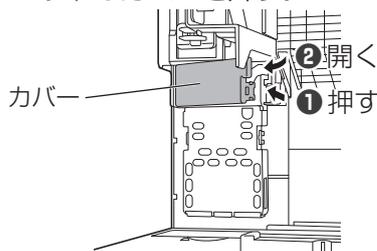
電極ユニットの取り外し方/取り付け方

■取り外し方

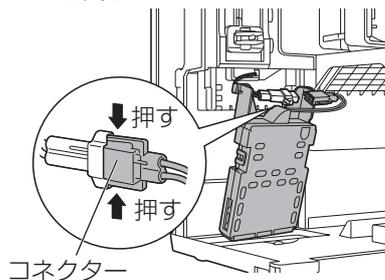
- ① 電源プラグを抜く。
- ② タンクを取り出す。
- ③ ツマミ(電極ユニット)を引き上げる。
- ④ トレーを本体から取り外す。
- ⑤ ツマミ(電極ユニット)を引き下げる。



- ⑥ 電極ユニットのカバーを外す。

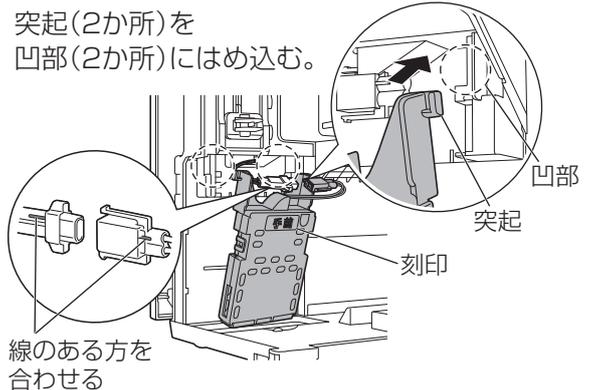


- ⑦ コネクターを外す。

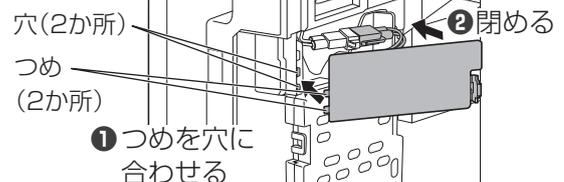


■取り付け方

- ① 新しい電極ユニットの刻印を手前にしてコネクターを取り付け、本体に取り付ける。



- ② 電極ユニットにカバーを取り付ける。



- ③ ツマミ(電極ユニット)を引き上げる。
- ④ トレーを本体に戻す。
- ⑤ ツマミ(電極ユニット)を引き下げる。
- ⑥ タンクを本体に戻す。
- ⑦ 電源プラグをコンセントに差し込み、

電極交換 を約3秒押す。

電極ユニットの廃棄について

- ご使用済みの電極ユニットは不燃物です。お住まいの地域のゴミ分別方法に従い廃棄してください。

長期間使わないときは

- ①電源プラグを抜く。
- ②タンク・トレーの水を捨て、すべてのお手入れをする。
- ③各部の水気をよくふき取ってから本体に戻る。
- ④電源プラグをコンセントに差し込み、**除菌フィルター乾燥運転**を行う。(カビや雑菌の発生を防ぐため)

除菌フィルター乾燥運転

ロック (3秒押し) と **風量** を同時に約3秒押す。



- [強]運転で除菌フィルター乾燥運転を開始します。
- 約2時間後に自動で停止します。
- 途中で解除するときは、再度約3秒押す。

お知らせ

- 除菌フィルター乾燥運転を途中で解除すると、十分乾燥できていない場合があります。

- ⑤運転停止後、電源プラグを抜き、本体にポリ袋などをかぶせる。
- ⑥湿気が少なく、水平で安定した場所に立てて保管する。

別売品 (サービスパーツ)

(2017年11月現在)

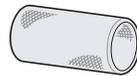
- 塩タブレット(約300粒入)



品番:F-ZVC03

メーカー希望小売価格:3,600円(税抜)

- 除菌フィルター



フィルター枠とフィルター押さえは付いておりません。

品番:F-ZVT3000

メーカー希望小売価格:1,700円(税抜)

- 保護エレメント

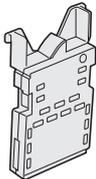


品番:F-ZVF3000

メーカー希望小売価格:6,000円(税抜)

サービスパーツ お取り寄せになります。

- 電極ユニット



品番:FKA4100014

メーカー希望小売価格:15,000円(税抜)

- 防カビユニット



品番:FKA0430059

メーカー希望小売価格:3,000円(税抜)

お手入れ

別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でもお買い求めいただけます。

パナソニックグループのショッピングサイト

 Panasonic Store

<http://jp.store.panasonic.com/>

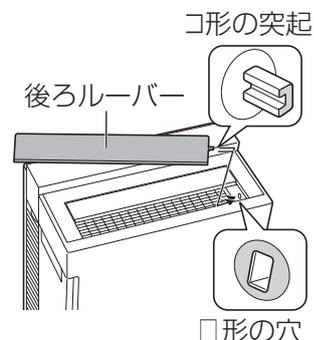
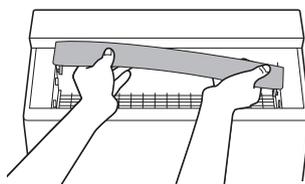
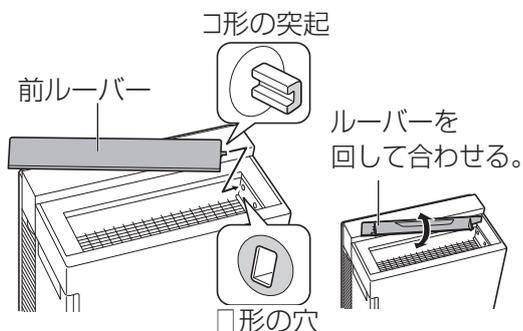
ルーバーが外れたとき

ルーバーの取り付け方

1 ルーバーのコ形の突起を
本体の右側の穴に差し込む

2 ルーバーの中央部を少し
曲げて、左側も差し込む

3 後ろルーバーも同様に
差し込む



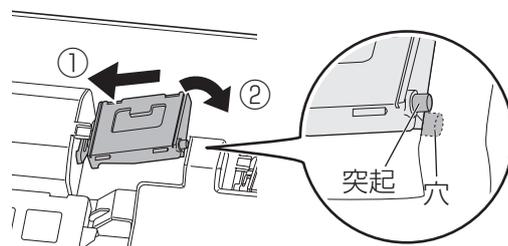
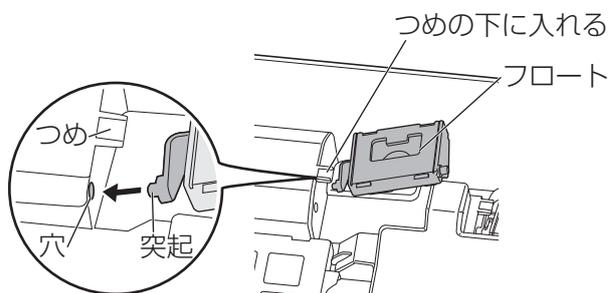
ルーバーは前後同じです。

フロートが外れたとき

フロートの取り付け方

1 トレーの穴にフロートの突起を差し込む

2 ①矢印方向に押しながら、
②反対側のトレーの穴に差し込む



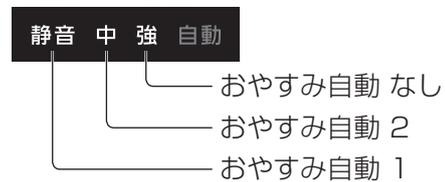
もっと知りたいとき

おやすみ自動運転について

照度センサーでお部屋の明るさを検知し、風量([自動]のみ)、操作パネル・運転サインのランプの明るさを自動で切り換えます。(初めて使うときは「おやすみ自動1」に設定されています)

- 「おやすみ自動運転」のときの運転サインの明るさは、変えることができます。
 - ①運転を止め、**切タイマー**(時間)と**ロック**(3秒押し)を同時に押し続ける。
(電解強度ランプの[弱]が点灯し、風量ランプが順次点滅)
 - ②お好みの設定になったら、ボタンから指を離す。
- 「クリーニング運転」「除菌フィルター乾燥運転」のときは、風量は切り換わりません。

風量ランプ表示:



おやすみ自動設定	お部屋の明るさ			
	薄暗い		暗い	
	操作パネル	運転サイン	操作パネル	運転サイン
おやすみ自動1	点灯	減灯	減灯	消灯 [※]
おやすみ自動2	点灯	減灯	減灯	減灯
おやすみ自動なし	点灯	点灯	点灯	点灯

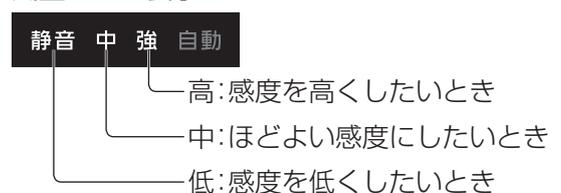
※赤点滅(給水・排水・お手入れのお知らせ)は消灯中も点滅します。

ニオイセンサーの働き

空気の汚れをセンサーで検知し、運転サインで空気の汚れ具合をお知らせします。「風量」設定が[自動]のときは、汚れの種類に応じて最適な風量にします。

- 暖房機が近くにある場合など室内の気流によって、センサーの働きが変化することがあります。
- お好みのセンサー感度に変えられます。
(初めて使うときは[中]に設定されています)
- ①運転を止め、**切タイマー**(時間)と**ロック**(3秒押し)と**風量**を同時に押し続ける。
(電解強度ランプの[強]が点灯し、風量ランプが順次点滅)
- ②お好みの感度になったら、ボタンから指を離す。

風量ランプ表示:



種類	検知する	検知することがある
ニオイセンサー	<ul style="list-style-type: none"> ●線香・調理・ペットのニオイ ●化粧品、アルコール、スプレー類など 	<ul style="list-style-type: none"> ●湯気(水蒸気)、油煙 ●ドア開閉時の風や、急な温度変化など

困ったとき

よくあるお問い合わせ

お問い合わせや、修理を依頼される前に、まずご確認ください。

Q1 運転サインを消したい

A

- 運転サインを消すことができます。
 - 運転中に **切タイマー (時間)** と **風量** を同時に約3秒押す。(運転サイン消灯)
 - 再度点灯させたいときは、再度、約3秒押す。(運転サイン点灯)
- 赤点滅(給水・排水・お手入れのお知らせ)は運転サインを消していても点滅します。

Q2 運転中に運転サインが消える

A

- 「おやすみ自動運転」により、照度センサーがお部屋の明るさを検知して、運転サインの明るさを自動的に切り換えます。「おやすみ自動1」に設定されている場合は、お部屋が暗くなると運転サインは消灯します。(P.27)

Q3 給水お知らせ音を消したい

A

- 1回目からお知らせ音を消したいとき
 - 運転を止め、**電解強度** と **風量** を同時に約3秒押す。(「ピッ」音で「消音」の設定)
 - 再度鳴らしたいときは、再度、約3秒押す。(「ピー」音で「鳴音」の設定)
- 2回目以降のお知らせ音を消したいとき
 - ① 運転を止め、**電解強度** と **ロック (3秒押し)** を同時に押し続ける。(切タイマーランプが順次点滅)
 - ② お知らせ音「無し」の設定になったら、ボタンから指を離す。
 - お知らせ音を鳴らしたいときは、同様の手順でお知らせ音「有り」の設定にしてください。(切タイマーランプ)



Q4

お知らせランプが点灯しているのに、運転ができる (運転サインが赤点滅しない)

A

- お手入れランプの点灯、電極交換ランプの点滅により、お知らせランプが点灯している場合は、運転サインは赤点滅しません。お知らせランプが点灯していても運転できます。
→ 一時的なものですので、トレーと除菌フィルターセットのお手入れをする、または電極ユニットの交換の準備をしてください。(P.22、P.23、P.24)

Q5

運転サインが青点灯のまま? (センサー感度の変更)

A

- センサーの感度が低いと、起こりがちです。お好みのセンサー感度に変えられます。(P.27)
(初めて使うときは[中]に設定されています)

故障かな!?

まず、次の確認をしてください。

それでも直らないときは、必ず、電源プラグを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

こんなときは	ここを確かめてください
① 運転を続けても 運転サインが「赤点灯」	● 浴室などの湯気や、スプレーから出るガスの影響を受けた場合、赤く点灯することがあります。
② 空気が汚れているのに 運転サインが「青点灯」	● 汚れを吸い込みにくい場所や、適用床面積より広い部屋に設置していませんか？ (P.7、裏表紙)
③ 風の出が少ない	● 吸気口や保護エレメントが、ホコリなどで目詰まりしていませんか？ → 目詰まりを取り除いてください。(P.20、P.21) ● 除菌フィルターセットに、水あかやゴミが付いていませんか？ → 水あかやゴミを取り除いてください。(P.23)
④ 風がまったく出ない	● 運転 切/入 を押してから、20秒経過しましたか？ → 運転 切/入 を押してから、約20秒間は準備運転を行います。(P.14) 20秒経過しても風がまったく出ない場合は、販売店にご連絡ください。 ● 塩投入確認ランプが点滅していませんか？ → 塩タブレットを1粒トレーに入れたことを確認してから、 塩投入確認 を押してください。(P.13、18)
⑤ 塩素系(消毒)のニオイが する	● 次亜塩素酸が汚れや臭気を分解しているためです。 → 塩素系(消毒)のニオイが気になるときは電解強度を「弱」にしてください。(P.14)
⑥ 吹出口からの風がおう	● 本体、保護エレメントが汚れていませんか？ → 保護エレメントのお手入れをしてください。(P.21) お手入れしても変わらないときは、新しい保護エレメントと交換してください。 ● トレー・除菌フィルターが汚れていたり、古い水を使っていませんか？ → トレー・除菌フィルター・タンクのお手入れをして(P.20、22、23)、新しい水道水と入れ替えてください。(P.16)
⑦ タンクの水が減らない	● 吸気口が、ホコリなどで目詰まりしていませんか？ → 目詰まりを取り除いてください。(P.20) ● 除菌フィルターセットに水あかやゴミが付いていませんか？ → 水あかやゴミを取り除いてください。(P.23) ● 湿度が高い、または室温が低くありませんか？ → 湿度が高いときや寒い日は、タンクの水が減りにくくなります。
⑧ 「ポコ」「ポコ」と音がする	● タンクから給水する音です。 → 故障ではありませんのでそのままご使用ください。
⑨ トレー付近から音がする	● 除菌フィルターセットは確実に取り付けられていますか？ → トレーを取り出し、一度除菌フィルターセットを取り外して、正しく取り付け直してください。(P.22)
⑩ 運転 切/入 を押しても ランプが点灯しない	● 電源プラグが外れていませんか？ → 電源プラグを根元まで確実に差し込み、 運転 切/入 を押してください。
⑪ タンクに水が入っているのに、 給水ランプが点灯する	● タンクは確実に取り付けられていますか？ → タンクを正しく取り付けてください。(P.13、18) ● フロートが正しく取り付いていますか？ (P.26)

故障かな!?(つづき)

こんなときは	ここを確かめてください
⑫排水作業を行ったのに、排水ランプが点灯する	<ul style="list-style-type: none"> ● 停電になりませんでしたか? ● 電源プラグを抜き差ししていませんか? → 一時的にプラグを抜き差しした場合は、排水解除をしてください。(P.11) ● 電源プラグを抜いた状態で作業しませんでしたか? ● 古い水が残っていませんか? → トレーの水を確実に捨ててください。(P.17) ● 排水後に新しい水をトレーに入れて本体に戻していませんか? → トレーは水を空にして、本体に戻してください。(P.17) ● 上記以外の場合は、電極ユニットの異常か故障の可能性があります。 → 販売店にご連絡ください。
⑬排水作業後、約1週間以内または給水ランプが7回目未満なのに排水ランプが点灯する	<ul style="list-style-type: none"> ● トレー内の水が汚れているときは、点灯する場合があります。 → 排水作業を行って、トレーのお手入れをしてください。(P.16、P.22)

エラーコード一覧

- デジタル表示部でエラーコードをお知らせします。
エラーコードを確認してから電源プラグを抜いて、下記の処置を行ってください。

エラーコード	原因	処置方法
U10	本体が転倒している。 本体が傾いたり、倒れたことがある。	① 本体を起こす。(こぼれた水はふき取る) ② 半日以上使わず、置いておく。 (内部に水が入った場合、完全に乾かすため) ③ 再度、電源プラグを差し込み、給水/排水作業(P.16)を行ってから運転する。
	本体の上に、磁石や金属物を置いたことがある。	● 電源プラグを差し直してください。
U11	電極ユニットに異物が付着している。	電極ユニットまわりの異物を取り除いてください。 ● 電源プラグを差し直してください。
	トレーの水やトレー・除菌フィルターが汚れている。	トレーの水を捨て、トレー・除菌フィルターをお手入れしてください。(P.16、22、23) 電源プラグを差し直してください。
U12	電極ユニットが上がっている。	電極ユニットを下げてください。(P.22、24) 電源プラグを差し直してください。
U14	トレーの水が汚れている。	トレーの水を捨ててお手入れしてください。(P.16、22) ● 電源プラグを差し直してください。
U16	フロートに異物が付着している。 正しく取り付けしていない。	フロートまわりの異物を取り除いてください。 フロートを正しく取り付けてください。

上記で直らないときや、他のエラーコードが表示されている場合は、販売店にご連絡ください。

F01	本体が故障している。	販売店にご連絡ください。
-----	------------	--------------

保証とアフターサービス

よくお読みください

使い方・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	() -
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

「よくあるお問い合わせ」「故障かな!？」(28～30ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

- 製品名 次亜塩素酸 空間除菌脱臭機
- 品番 F-MVB15
- 故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

(ただし、保護エレメント、電極ユニット、除菌フィルター、防カビユニットは消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます)

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **6年**

当社は、この次亜塩素酸 空間除菌脱臭機の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

フィルターなどの消耗品(別売品)とは異なります。

●転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙に記載のご相談内容に応じた窓口へご連絡ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

困ったとき

仕様

電 源	交流 100 V 50 / 60 Hz		
運転モード	強	中	静音
消費電力(W) ^{※1}	26	12	8
運転音(dB)	46	33	20
風量(m ³ /min)	3.7	2.0	0.8
連続運転時間(時間) ^{※2}	10	17	38
適用床面積の目安 ^{※3}	～ 10畳(～ 16 m ²)		
タンク容量(L)	約 2.1		
電源コードの長さ(m)	1.8		
製品寸法(mm)	高さ702 × 幅398 × 奥行240		
製品質量(kg)	約11.2		

※1 コンセントに電源プラグを差した状態で、運転が「切」のときの消費電力は約0.5 Wです。(クリーニング運転時は約8 W)

※2 連続運転時間は、室内温度20℃、湿度30%の環境における値です。室内の温度や湿度によって、連続運転時間は変わります。暖かくて乾燥している方が運転時間は短くなります。

※3 揮発した次亜塩素酸が一定濃度届く範囲の目安です。

●この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では、使用できません。また、アフターサービスもできません。

パナソニック 総合お客様サポートサイト <http://www.panasonic.com/jp/support/>

 <p>空質・電池・暖房 使い方・お手入れなどのご相談窓口</p> <p>フリーダイヤル 0120-878-698 受付時間 9:00～18:00 (年中無休)</p> <p>■上記電話番号がご利用 いただけない場合 06-6907-1187 ■FAX フリーダイヤル ☎ 0120-878-236</p> <p>Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)</p>	 <p>修理に関するご相談窓口</p> <p>フリーダイヤル 0120-878-554</p> <p>■上記電話番号がご利用 いただけない場合 03-6633-6700 ■FAX フリーダイヤル ☎ 0120-878-225</p> <p>QRコード</p> <p>便利な修理サービスサイト http://club.panasonic.jp/repair/</p>
---	--

・ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はおお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)

愛情点検 長年ご使用の空間除菌脱臭機の点検を!	
 <p>こんな 症状は ありま せんか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 水漏れする。 ● 電源コードを動かすと、運転が止まる。 ● 運転中、異常に大きい音がしたり、激しく振動する。 ● 本体が異常に熱かったり、こげ臭いニオイがする。 ● その他の異常や故障がある。
<p>ご使用 中止</p>	<p>事故防止のため、 運転を停止し、 コンセントから電源 プラグを抜いて、 必ず販売店に点検を ご依頼ください。</p>

パナソニック株式会社

パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番

© Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2017

Printed in Japan

MVB158950A
F0617C1048